

■小学校への英語専科教員の配置拡充を

子どもや教職員の過重負担を軽減すべき！



2020年度からの新・学習指導要領(※②)の実施により、小学校においては英語学習が導入され、3・4年生で外国語活動が新たに35時間、5・6年生では70時間、外国語科の学習を行うこととなります。

福岡市は、本年度は3・4年生で15時間、5・6年生で50時間実施し、2019年度から1年前倒しで本格実施するとしていますが、授業時間確保が困難な状況です。市教委は、「2018年度に増加する時数は、『総合的な学習の時間』の時数を活用し対応するとともに、今後引き続き検討する」としています。子どもたちや教職員の負担増とならないように注視していかなければなりません。

英語の免許を持つ教員の配置を

本市では、本年度、3・4年生にゲストティーチャー(GT ※③)を年間8時間、5・6年生には、ネイティブスピーカー(NS ※④)を年間35時間配置しています。しかし、全ての授業に配置されず、授業は基本的には担任が行わなければならないままです。中学校では、英語の免許を持つ

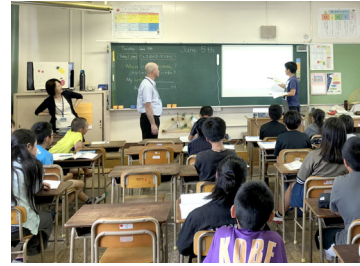
教員が授業をおこなっていますが、小学校教員は教員養成課程で英語指導を受講した人は少なく、2014年の文科省の調査によれば、小学校教員で英語教員免許を持っている人はわずか5%です。本年度、国からの定数を活用し英語の免許を持つ専科教員が12名配置(最大2校)されていますが市内の全小学校144校中わずか20校しか対応できていません。

市教委は英語教育推進リーダーを育成し、全教員に指導方法の学び合う研修を実施し指導力を高めるとしていますが、研修の時間を確保することも厳しい学校現場の実態から、どれほど効果があるのか疑問です。そこで、**文科省に対し英語専科教員の配置拡充を強く求めると併せ、他自治体に倣い、段階的にも市独自予算で配置することを要望しました。**

※② 学習指導要領⇒学校教育法等に基づき、各学校が教育課程(カリキュラム)を編成する際の基準。

※③ GT⇒英語を母語とする外国人または地域在住の英語が堪能な人。

※④ NS⇒委託会社から派遣された外国人英語指導講師。



英語専科教員とNSによる6年生の英語学習(東区小学校)

議会活動レポート Vol.19

2018年
夏号

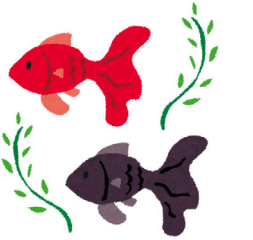
おちいし 俊則

福岡市議会議員【東区】

暑中お見舞い申し上げます

6月13日に開会された第3回福岡市議会6月定例会は、「障がい理由とする差別をなくし障がいがある人もない人も共に生きるまちづくり条例」や「中小企業の生産性向上を促進するための設備投資に関する条例」等、全30議案並びに「教育予算の拡充を求める意見書」等3件を可決し22日に閉会しました。

私は、福岡市民クラブを代表して、「博多港の物流機能の充実と港湾労働環境の改善」「小学校への英語専科教員の配置」の2点について質問に立ちました。また、所属する第3委員会では、福岡空港特定運営事業等の優先交渉権者選定の報告事項や中央卸売市場鮮魚市場改良工事等について審議・質疑を行いました。以下ご報告いたします。



第3回定例会(6月議会)一般質問

【2018年6月15日】

■博多港の物流機能の充実と港湾労働環境の改善を

博多港の国際海上コンテナ貨物の9割がアイランドシティ・コンテナターミナルと香椎パークポートコンテナターミナルで取り扱われており、2017年度の取扱量は92万TEU(※①)と過去最高を更新しています。今度のアイランドシティ・コンテナターミナル岸壁整備により、岸壁の処理能力が向上し、今後のコンテナの取扱量増加に対応可能となるなど、博多港の発展につながるものと期待されます。

船舶の大型化が進行する中で、コンテナ港湾運送事業において荷役機器の大型化とIT化による荷役の高速化等の技術革新が実行され、港湾荷役労働者の技能を高めることが喫緊の課題となっています。一方、コンテナ船の寄港状況は、夜間が約半数、休日が3割程度を占め、深夜や休日作業の多さや勤務交代がうまくできないなどの理由で、より環境が整っている仕事へ転職する人も多く、熟練の技能を持った人たちが、他の仕事に転職していくことは、博多港の振興にとっても大きな損失

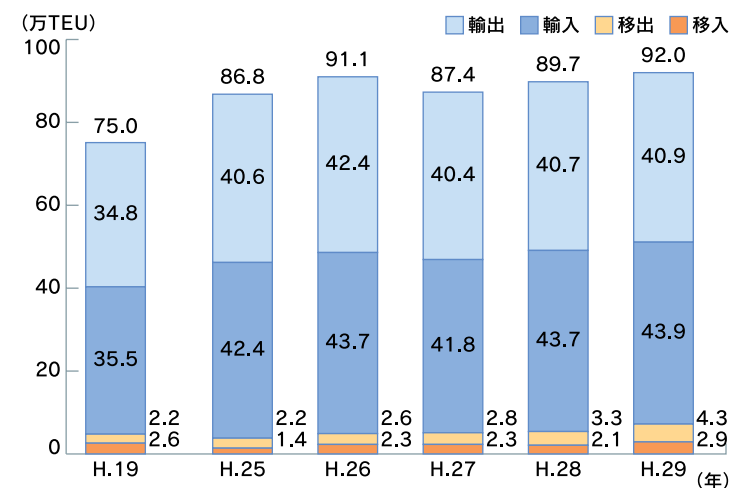
です。博多港の発展には、港湾運営会社なども含め、関係者が一体となって、労働環境の改善など働きやすい環境づくりに取り組むべきです。

【港湾空港局長】

- 現在、港運事業者内においては、対策会議を設置し、労働力確保に向けて取り組んでおり、港湾空港局も、港湾運営会社である博多港ふ頭(株)等と連携し、休憩施設の設置などを進めている。
- 今後とも引き続き、官、民、労の3者が連携し、これまでの港湾施設の整備やソフト施策に加え、労働環境の改善など、働きやすい環境づくりに取り組んでいく。

※① TEU⇒コンテナを数えるときの単位で、20フィートコンテナ換算個数のこと。

博多港国際海上コンテナ取扱個数の推移(市港湾空港局調べ)



アイランドシティ・コンテナターミナル(国際物流ゾーン)

東奔西走

おちいし俊則
活動報告
2018年
4月~6月

「非正規雇用フォーラム福岡」総会

(5月31日 福岡市人権啓発センター)



西日本新聞記者による「技能実習生や留学生アルバイト等、外国人労働問題を考える」の講演を拝聴し、外国人労働者と暮らすための社会づくりの方策を考えました。

第89回福岡メーデー

(4月28日 舞鶴公園「日平和台球場跡地」)



「働く者のための働き方改革」のスローガンのもと今年も働く者の祭典が5千人超の仲間の参加をえて開催されました。



労働相談ホットライン

(6月12日 JR博多駅筑紫口前)

雇止めや残業代不払い、パワハラ等、「ひとりで悩んだり、我慢したりせず、まずは相談」と連合福岡の皆さんと労働相談ホットラインの周知活動を行いました。



熱戦がつづく!

(6月24日 東体育館)

各校区代表12チームの参加のもと東区子ども会親善ドッジボール大会が開かれました。下級生の指導を続けてきた6年生にとっては思い出に残る一日になったことでしょう。



調査! ブロック塀撤去

(6月27日 東区小学校)

緊急点検により、建築基準法に適合していないとみられるブロック塀が撤去され、仮設フェンスが設置されています。早急な安全点検を要請しました。

市政報告会

(5月12日 なみきスクエア)



2018年度当初予算案や新規事業を報告し意見交流を行いました。子育てや高齢者福祉、生活道路の整備等、貴重なご意見・ご要望をいただきました。しっかり行政に届けます。

PROFILE

1956年4月1日 福岡市東区奈多生まれ
1971年 和白中学校卒業
1974年 福岡高等学校卒業
1979年 福岡教育大学卒業
1979~2006年
27年間、福岡市内の小中学校で教壇に立つ(和白東小、千代小、香椎浜小、東吉塚小、美和台小)
2011年 福岡市議会議員 初当選
2015年 福岡市議会議員 二期目

所属委員会・協議会等

- ◆第3委員会 (経済観光文化局、農林水産局、港湾空港局)
- ◆都市問題等調査特別委員会
- ◆九州大学移転・跡地対策協議会
- ◆福岡市中小企業振興審議会
- ◆博多港地方港湾審議会
- ◆福岡市水産業振興審議会

おちいし俊則事務所

〒811-0204
福岡市東区奈多1-10-12
TEL 092-606-4541
FAX 092-606-6878
http://www.ochiishi.jp/
e-mail/info@ochiishi.jp

